

人を用いる神

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/2/5

エデンの園以後

- エデンの園, 追放
 - 神様との唯一の約束を破り, エデンの園を追放されたアダムとエバ
- 最初の殺人事件(4章)
 - 兄カインが, 献げ物の事で弟アベルに怒り, 殺した
- ノアの箱船(6~10章)
 - 人間が「常に悪いことばかりを心に思い計っている」のをご覧になった神は, これを滅ぼそうと思われた
 - しかし, ノアは「主の好意を得た」ので, 彼に箱船を造らせ, 彼のその家族, そしてすべての生き物を救われた

アブラムの召命(11:27~12:7)

- アブラムの父テラとその一家はカルデヤのウルからハランまで移動し、そこにとどまった
 - 主はウルでアブラムを呼ばれ、一家は移動したが、父テラはハランで止まり、そこで死んだ
- ハランで、再び主はアブラムに声をかけられた
 - 主は「あなたは生まれ故郷／父の家を離れて／わたしが示す地に行きなさい」と言われた
 - アブラムは声の主が誰であるか知らなかった
 - 行き先を知らないで、家族を連れて旅をすることは無謀で危険なことだった



古ヒッタイト王国
(B.C. 1700以後)

フルリ人
(ホリ人)
B.C. 1700以前

カラン

2度目の召命

カナン

ウル

最初の召命

旅長時代の聖書の世界
B.C. 2000~1600

Copyright by C. S. HAMMOND & CO., N. Y.

0 50 100 200 300 マイル

主がアブラムに与えた約束

- 「わたしはあなたを大いなる国民にし／あなたを祝福し、あなたの名を高める／祝福の源となるように。あなたを祝福する人をわたしは祝福し／あなたを呪う者をわたしは呪う。地上の氏族はすべて／あなたによって祝福に入る。」＜12:2-3＞
 - 大いなる国民とする：子孫が多くなる
 - 祝福し、名を高める：人々から敬われ恐れられる
 - 祝福の源となる：彼から繁栄が始まる
 - 祝福する人を祝福し呪う人を呪う：彼の判断を支持する
 - 地上のすべての氏族が彼によって祝福に入る

アブラムの決断

- アブラムには子どもがいなかった
 - 妻は「不妊の女で、子どもができなかった」(11:30)
 - 甥のロトは養子的な存在だった
- アブラム自身, 75才になっていた
 - 父テラは205才で亡くなっているので, 現代の75才よりも元気であったと思うが...
- それでもアブラムは家族と家畜を連れ, 見知らぬ土地へと向かって行った
 - アブラム一行はカナンの地に入り, そこで主が「あなたの子孫にこの土地を与える」と言われた

このお話が教えること

- 神は人を見捨てない
 - 人は神に背き続けた
 - ・カイン・ノア・バベルの塔
 - 滅ぼす(跡形もなく消去する)こともできた
 - ・一度考えられたが、ノアが存在が踏みとどまらせた
- 神は人を用いられる
 - 一人の人の失敗によって始まった「呪いの歴史」。
 - 一人の人によって「祝福の歴史」をはじめようとされた
- 神が求めておられることは、神の約束を信じて従う(実行する)ことである

信じて実行するならば

祝福が与え
られる

祝福の歴史
が始まる

他の人にも
祝福が及ぶ